

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212X401	看護研究 (Nursing Research)	専門教育科目 看護研究

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	2	4	前・後		看護学科全教員 内線：5071 E-mail：mitsumie@

### 【授業の概要・到達目標】

自ら経験した看護実践や看護学全般において疑問に思ったことを研究疑問に発展させ、一連の研究プロセスを実際に体験することで「看護の現象」を追究し、看護の本質をつかみ、看護実践や看護学の発展につなげていくことの重要性や意義を学ぶ。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 看護学における自らの疑問を研究疑問に発展させ、研究のテーマを設定する。			○		○		
2. 関連する先行文献を読んで概略をまとめ、自らの研究の目的と意義を述べる。			○		○	○	
3. 研究デザイン・方法・分析・考察などのプロセスを体験し研究論文を作成する。			○			○	
4. 自身が行った研究内容を発表し、他者に伝えるプレゼンテーションを行う。		○					
5. 研究のプロセスを振り返り、研究的に物事を考える重要性と意義を述べる。						○	○

### 【授業の進行】

1	複数のテーマを考え、そのテーマを選んだ理由を書いた「テーマ届」を提出する。
2	指導教員が決定されたら、以降は全過程を担当教員の指導のもとで研究を進める。
3	「研究計画書」を作成し、指導教員に提出する。
4	病院や施設の協力者に研究計画を説明し、承諾を得るとともに、研究対象者より承諾を得る。
5	研究計画に沿って研究を進める。
6	研究論文を執筆し、本文と要旨を提出し、口頭発表の準備を始める。
7	発表会を行い、他の学生や教員と研究内容等について議論し、理解を深める。
8	学生による「自己評価表」と教員による「評価表」をもとに、学生と教員の両方で確認し合い、最終評価を行う。
9	研究対象者や協力者に研究結果を報告する。
10	研究の要旨は「看護研究要旨集」として卒業時に配布される。本文は製本され、看護学科と図書館に配架される。

### 【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	研究プロセスを繰り返し復習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループワークや口頭発表を行い、研究計画や結果について他の学生や教員と意見を交換させる。</li> <li>現場の看護師と研究結果の実践応用について議論する。</li> </ul>
B：意見の表現・交換	○	同じ領域の学生や教員との意見交換を行う。	
C：応用志向			
D：知識の活用・創造	○	研究実践活動 研究論文作成 研究論文の発表	

### 【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	文献検索に慣れる。原著論文などさまざまな形式の論文を読む。(12h)
事後学修	研究結果について、他の学生や教員、現場の看護師と議論する。(12h)

【教科書】 坂下玲子他：系統看護学講座 別巻 看護研究 第2版、医学書院、2023

【参考書】 研究テーマに沿った論文等

### 【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
研究への取り組み方	40%	○	○	○	○	○
研究論文	30%	○	○	○		○
口頭発表・振り返り(評価表)	30%		○		○	○

【注意事項】 Moodleに「看護研究の手引き」「教員の学術雑誌の所蔵状況」などの資料が掲示されるので注意すること。

3年次「看護研究方法論」の講義最終回に行った「看護研究」のオリエンテーションを必ず参照すること。

【備考】

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	保健師、助産師、看護師、医師	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	保健師、助産師、看護師、病院の医師としての経験から看護の課題を抽出し、研究の方法や進め方、結果の解釈および考察の仕方の実際についての学修を支援する。	
授業形態	面接授業	